

第8回民主主義・開発・自由貿易ドーハ・フォーラムが閉幕

3日間にわたり深い議論を尽くしてきた第8回民主主義・開発・自由貿易ドーハ・フォーラムが2008年4月15日（火曜日）閉幕した。これらの議論では、政治や開発、安全保障、メディア、文化、教育、最新のテクノロジー、グローバル化などといったテーマ、並びにこれらの問題が経済成長および民主的変容において果たす役割などが取り上げられた。

閉会セッションで演説を行なったカタール外務省のムハンマド・ビンアブドゥラー・ロメイヒー追跡調査担当次官補は、今回のフォーラムに、政治家や経済人、学者、思想家、ジャーナリスト、カタール人の学生など多数が積極的に参加し、前向きな議論がなされたことを誇りに感じるとした上で、フォーラムの主要な目的が、自由で建設的な対話の雰囲気醸成するとともに、検討・議論の対象となっている全ての問題について明確な意見を表明するために参加する機会を与えることである点を強調した。

またロメイヒー次官補は、各会合およびセッションで様々な意見が出されたことへの喜びの気持ちを表明した上で、今回のフォーラムで集中的に取り上げられたテーマが参加者たちを満足させ、彼らの称賛を得られたことを願った。

そして同次官補は、今回議論された各テーマがフォーラム開催の6カ月前に、カタールの他、米国・欧州・中東において開催を支援する各方面と共に綿密に選定されたことを明らかにするとともに、人道主義の全てに関わるこれらのテーマの重要性を強調した。

更に同次官補は、これまでに無かった戦略的なテーマが今回のフォーラムに盛り込まれた一方で、次回フォーラムを実りあるものにする人道的懸念に関わる新しく野心的な提案の採用が検討されることになる旨を明らかにした。そして、参加者たちに対して、来年のフォーラムの行動プログラムに付け加えたいものについて意見を表明するよう呼び掛けた。

また同次官補は、カタール国内外で今回のフォーラム開催に協力した全ての機関および研究センターに対して深く感謝した。

他方、フォーラムの参加者たちは、8回目になる今回のフォーラムが到達した高いレベルと、そこでの建設的な議論を称賛した。また、同フォーラムが継続して毎年開催されていることは、回を重ねるごとに同フォーラムが実現している成功を示すものであるとし、自由かつ高い透明性で以って様々なテーマについて議論する機会を与えてくれたカタールの首長・政府・国民に対して深く感謝した。